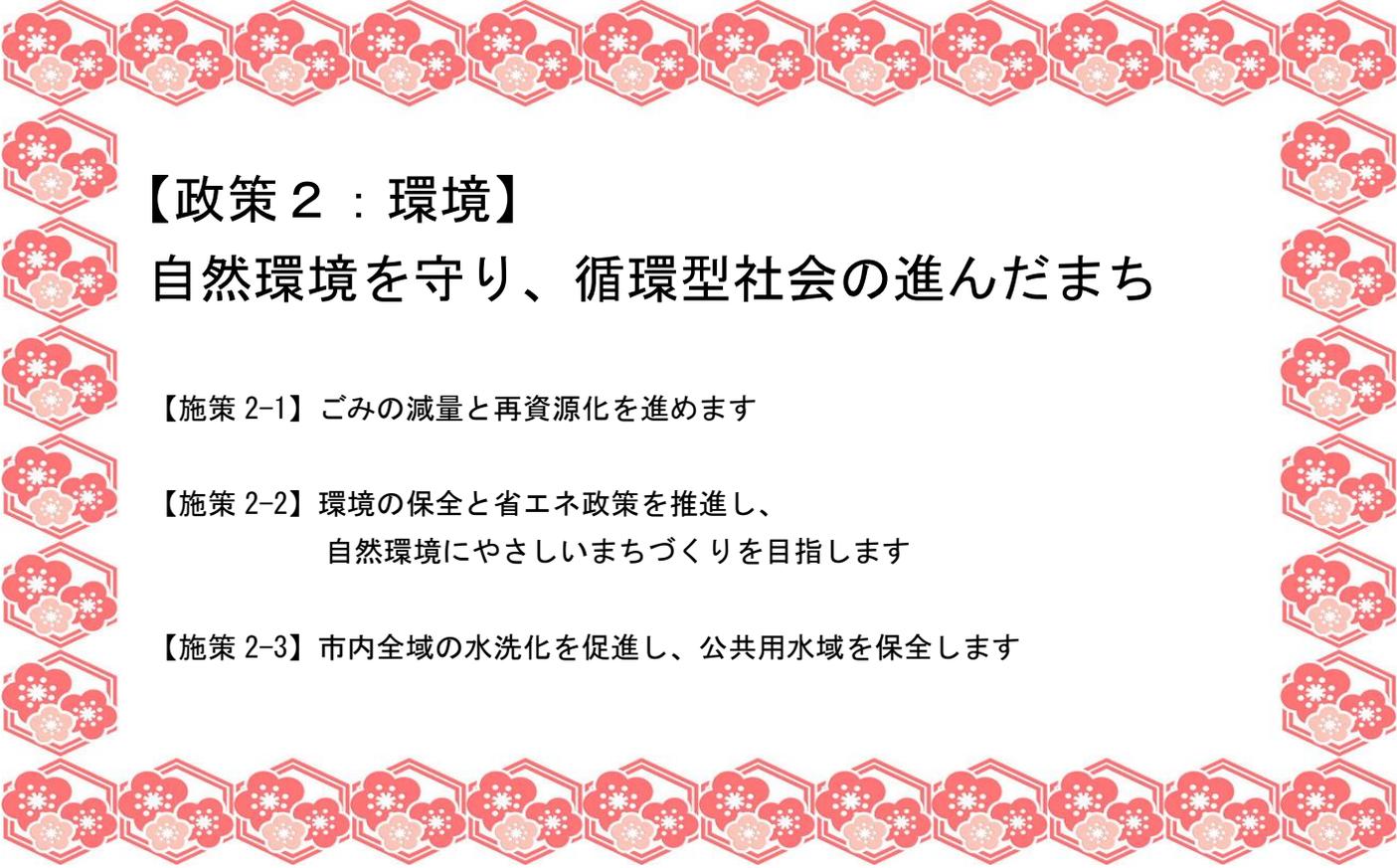


# 成果説明書



## 【政策 2 : 環境】

### 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち

【施策 2-1】 ごみの減量と再資源化を進めます

【施策 2-2】 環境の保全と省エネ政策を推進し、  
自然環境にやさしいまちづくりを目指します

【施策 2-3】 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します



## ◆ミッション

雄大な浅間山、清流千曲川など人々を感動させる景観や、豊かな森や水資源を守り育み、活かすことにより、住む人・訪れる人が住み心地・居心地の良い環境づくりを進める。

- ◎人を感動させ、癒す力を持つ景観や自然環境を、積極的に活用することにより保全につなげる。
- ◎ごみの減量と再資源化を進め、資源を大切に利用する循環型社会を目指す。
- ◎今ある豊かな自然と環境を、健全な形で未来につなげる。
- ◎水源地域の環境を保全し、適正な排水処理により公共用水域を守る。

## ◆方 針

◎人を感動させ、癒す力を持つ景観や自然環境を、積極的に活用することにより保全につなげる。

小諸の貴重な財産である景観や自然環境を各種事業等で積極的に活用し、自然環境の持つ「人々を感動させ、癒す」力などについて、住む人・訪れる人と一緒に楽しみ・考え・行動することにより、自然環境の健康(育成・保全)へとつなげる。さらに市民の環境意識の向上のため、市民・事業者等の主体的な参加と協働により、市内全域で景観美化活動に取り組み、住む人も訪れる人にとっても住みたくなる美しい環境を維持・保全する。

◎ごみの減量と再資源化を進め、資源を大切に利用する循環型社会を目指す。

かけがえのない地球環境を次世代に引き継ぐため、環境への負荷に配慮し、ごみの減量と再資源化を進めるとともに、廃棄物の適正処理の徹底や不法投棄防止のための取り組みを強化し、循環型社会の構築に努める。

◎今ある豊かな自然と環境を、健全な形で未来につなげる。

景観条例等各種法令の遵守や「太陽光発電事業の適正な実施に関するガイドライン」等に基づき再生可能エネルギーを推進することにより、小諸の美しい景観や豊かな自然環境及び市民の安全で安心な生活環境との調和を図り、現在の環境を健全な形で未来へつなげる。また、「小諸市気候非常事態宣言」に沿って、市民、事業者、行政が一丸となって、地球温暖化対策に取り組み、持続可能な地域社会を目指す。

◎水源地域の環境を保全し、適正な排水処理により公共用水域を守る。

水資源の確保、水の安定供給を図るため、水源地域の環境を保全する。また公共水域の保全のため、地域の状況に応じた水洗化を推進するとともに、水質調査を行い、かけがえのない地下水の汚染を未然に防止する。

政策 2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
施策 2-1	ごみの減量と再資源化を進めます

所 管	生活環境課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

ごみの総排出量は、平成28年度以降、ほぼ横ばいでの推移となっており、クリーンヒルこもろの稼働により、安定的にごみ処理ができるようになったが、しかし、可燃ごみの排出量は年々増加しており、それに伴いごみ処理経費も増加傾向となっている。また、資源物の再資源化は、店頭での回収などを含め定着してきているが、可燃ごみへの混入が見られることから、ごみの分別の徹底と減量に早急に取り組む必要がある。

不法投棄の防止に向けては、定期的なパトロールの実施や監視カメラの設置、啓発などの活動を行っているが、なかなか無ならないため、対策についての早急な検討が必要である。

◆方針

目的

豊かな自然環境を守り、循環型社会を形成するため、市民、事業者と行政が連携、協力し、食品ロスの削減への取り組みと、3R(Reduce、Reuse、Recycle)の徹底により、ごみの減量と再資源化を積極的に推進する。このことにより、ごみ処理費用の抑制と温室効果ガスの発生抑制に努める。

◆令和2年度重点方針と目標

ごみ減量アドバイザーを中心に衛生自治会と連携しごみの減量化に向けた市民への啓発活動を継続するとともに、事業系一般廃棄物については、定期的な搬入検査の実施や事業者向け分別表の活用を推進し、適正処理や分別の徹底により減量化を目指す。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画

- ①ごみの分別の徹底が市民や事業者に浸透し、再資源化が推進され、ごみの排出量が年々減少している状態。
- ②不法投棄がなくなり、ごみのないきれいな街や、郊外の景観が保たれている状態。
- ③クリーンヒルこもろへのごみの搬入量が減少し、安定的かつ経済的に運営され、周辺への環境負荷が低い状態。

◆実績

令和2年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別、減量化に向け、広報に特集ページを連載するなど、市民への啓発を実施した。</li> <li>・不法投棄監視パトロール及び不法投棄ごみの回収を行った。</li> <li>・増加する焼却ごみの安定処理に向け、クリーンヒルこもろの運営の見直しを実施した。</li> <li>・自然災害等への対応として、災害廃棄物処理計画を策定した。</li> <li>・次期ごみ処理基本計画策定に向け、廃棄物減量再資源化等推進市民会議を開催した。</li> </ul>	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	一人一日当たりごみの排出量(家庭系ごみ、括弧内は事業系ごみを含めた値)					
設定理由	ごみを減らすことにより処理費用の削減と処理時に発生する温室効果ガスの削減につながるから。					
算式					単位 g	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	595(803)	計画	594(800)	593(797)	592(794)	591(791)
		実績	600(814)			
指標名	燃やすごみに含まれる資源物の割合(家庭系ごみ)					
設定理由	ごみをきちんと分別すれば、資源として循環させることができ、ごみ処理経費等の削減につながるから。					
算式					単位 %	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	28.7	計画	28.4	27.6	26.8	26
		実績	—			
指標名	事業系ごみの年間排出量					
設定理由	ごみを減らすことにより処理費用の削減と処理時に発生する温室効果ガスの削減につながるから					
算式					単位 t	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	3,310	計画	3,270	3,230	3,190	3,150
		実績	3,167			

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

- ①ごみ減量アドバイザーや衛生自治会と連携し、各区での分別指導の徹底や出前講座の実施、広報等の活用により市民への啓発を図り、食品ロスの削減や再資源化を推進することによりごみの排出量削減を進める。
- ②事業系ごみの展開調査などにより、事業者の分別指導を徹底し食品ロスの削減や再資源化の推進によりごみ排出量削減を進める。
- ③クリーンヒルこもろへの定期及び随時のモニタリングにより、計画に基づく業務の履行を確認し運営の安定化を図る。
- ④不法投棄の防止に向け、市民への情報提供と有効な防止対策について引き続き検討を行う。

◆個別計画

ごみ処理基本計画／分別収集計画／一般廃棄物処理実施計画

◆特記事項

--

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
清掃総務費運営費		継続	5				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・4衛生費・2清掃費・1清掃総務費		生活環境課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の適正処理及び資源化に関する的確な情報収集と市民への周知</li> <li>・災害廃棄物対策の推進</li> </ul>						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	15,941 千円	15,722 千円	14,330 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	6,946 千円	6,453 千円	0 千円		
一般財源		8,995 千円	9,269 千円	14,330 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	「ごみ資源収集カレンダー」の発行部数	部	計画	26,300	26,300	26,300	
			実績	26,300	26,300	26,300	
	衛生委員研修会の開催数	回	計画	2	2	2	
実績			2	1	0		
令和2年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの排出基準等を「ごみ資源収集カレンダー」「分別ガイドブック」「広報こもろ(連載コーナー)」「市公式ホームページ」で周知した。</li> <li>・災害廃棄物処理計画を策定した。</li> <li>・衛生自治会交付金を交付し、地域の環境美化活動(集積所管理)の促進を図った。</li> </ul>							
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害廃棄物仮置場設置マニュアルを作成し、人員、消耗品等の購入、資材のリース等、準備を始める。</li> <li>・「ごみ資源収集カレンダー」「分別ガイドブック」「広報こもろ」「市公式ホームページ」と併せて、コミュニティテレビこもろ等のメディアを活用し、ごみの減量化に関する啓発及び排出基準等の周知を行う。</li> <li>・小諸市衛生自治会への交付金の交付方法を見直し、これまで環境美化活動(不法投棄監視及び回収、集積所の維持管理等)に充てていた一部を、集積所等の設置に係る補助に充てることで、目に見える形で集積所の環境美化の推進を図る。また、衛生委員の役割や活動内容について理解を深めるため、衛生委員研修会を開催する。</li> </ul>						今後の方針	維持

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
浅麓環境施設組合運営費分担金		継続	3				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・4衛生費・2清掃費・1清掃総務費		生活環境課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物(し尿、生ごみ)の適正処理</li> </ul>						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	333,199 千円	323,157 千円	285,387 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		333,199 千円	323,157 千円	285,387 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	生ごみの処理単価	円/t	計画	37,600	37,400	44,000	
			実績	44,461	41,024	41,024	
			計画				
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の安定稼働及び運営改善等を構成市町として検証し、処理経費の削減を検討した。</li> <li>・生ごみの分別徹底や浅麓エココンポの利用促進について、広報こもろ等により住民へ周知した。</li> </ul>							
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の施設運営のあり方について、担当部課長会議や担当係長会議で検討する。</li> <li>・あらゆるメディアを活用し、住民に生ごみの処理状況について情報を提供し、生ごみの分別の徹底と減量化を図る。</li> </ul>						今後の方針	維持

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
収集運搬運営事業		継続	2			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課	1:無			
事業概要	・一般廃棄物等の収集運搬					
投入指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費	91,497 千円	137,897 千円	137,536 千円		
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	7,791 千円	550 千円	0 千円		
一般財源	83,706 千円	137,347 千円	137,536 千円			
活動指標	指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	収集及び運搬単価	円/t	計画	15,400	15,200	15,000
			実績	19,044	19,384	19,384
			計画			
		実績				
令和2年度 実績			特記事項			
<p>・収集業務の受託事業者と定期的に打ち合わせを行い、現状や課題の情報を共有し、集積所の不適正排出への対応や、ごみの減量化に向けた取組などについて検討を行った。</p> <p>・集積所の不適正排出について、警告シールや掲示板、ごみ資源収集カレンダーを活用し、分別指導を行った。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<p>・収集ルート及び収集方法の効率化を図り、収集及び運搬業務に係る経費の削減を図ると共に、夏場の生ごみ収集日が祝日でも収集する等、市民サービスの向上を検討する。</p> <p>・メディア、お知らせシールを活用し、排出ルールの徹底を図る。また、お知らせルールの記載内容を研究し、より効率的なものとしていく。</p> <p>・これまで「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業の合理化に関する特別措置法」に基づいて計画を策定し、一般廃棄物収集運搬等を支援策として定め随意契約としてきている。支援策のうち「一般競争入札へ向け検討」としている事項について、事務担当者レベルで検討、調整を行う。</p>			今後の方針	維持		

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
塵芥処理施設管理事業		継続	4			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課	1:無			
事業概要	・一般廃棄物の最終処分及び水処理等の適正処理					
投入指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費	7,235 千円	3,031 千円	4,414 千円		
	特定財源 国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	0 千円	526 千円	1,001 千円		
一般財源	7,235 千円	2,505 千円	3,413 千円			
活動指標	指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	残渣の埋立量	t	計画	0	0	0
			実績	0	0	0
			計画			
		実績				
令和2年度 実績			特記事項			
野火附廃棄物埋立処理場(エコパークみかげを含む)の適正な維持管理を行った。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<p>・野火附廃棄物埋立処理場(エコパークみかげを含む)の適正な施設管理を行うと共に、効率的な維持管理について委託等も含め研究する。</p>			今後の方針	維持		

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
廃棄物減量リサイクル事業		継続	6				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な減量、再資源化施策を検討する市民会議の開催</li> <li>容器包装物等資源物の適正なりサイクル処理</li> </ul>						
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費		8,621 千円	7,603 千円	6,505 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		8,621 千円	7,603 千円	6,505 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	ごみ減量アドバイザーの人数	人	計画	15	15	15	
			実績	12	10	10	
			計画				
			実績				
令和2年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>区や各種団体の会議等にごみ減量アドバイザーを派遣し、ごみの減量に関する出前講座を行った。</li> <li>燃やすごみの増加等、市が抱える課題について検討する市民会議を立ち上げ、令和5年度に策定する「ごみ処理基本計画」の策定に向けてスタートした。</li> </ul>							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ減量アドバイザーを地域の区総会等各種会議やイベントに派遣し、市民に環境学習等を行う。また、出前講座を積極的にPRし、利用促進を図る。</li> <li>廃棄物減量・再資源化市民会議において、平成26年度策定の「ごみ処理基本計画」を検証し、あらたな「ごみ処理基本計画」の策定に向けて、資源物の安定的かつ経済的なリサイクルについて情報を収集し、ごみ減量、リサイクルの促進を図る。</li> <li>地域におけるごみ減量アドバイザーの人材発掘とその育成を行う。</li> <li>食品ロス削減について、国県の計画、取組を踏まえ、施策を検討する。</li> <li>ごみ減量アドバイザーと事業者の意見交換等を行い、事業系ごみ削減の取組へつなげる。</li> </ul>						今後の方針	維持

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
クリーンヒルこもろ運営事業		継続	1				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課	1:無				
事業概要	燃やすごみの焼却及び資源物のリサイクル処理						
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費		245,462 千円	263,714 千円	281,587 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	119,513 千円	123,787 千円	159,199 千円		
一般財源		125,949 千円	139,927 千円	122,388 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	家庭系燃やすごみの年間排出量	t	計画	4,000	4,890	4,885	
			実績	4,897	5,091	5,113	
	事業系燃やすごみの年間排出量	t	計画	2,001	1,991	1,980	
			実績	2,210	2,215	2,175	
令和2年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>排ガス自主規制値を順守した施設運営を行った。</li> <li>定期的に運営モニタリング会議を開催し、適正管理に努めた。</li> <li>クリーンヒルこもろの環境学習スペースを活用し、環境学習を行った。</li> <li>増加する燃やすごみの安定処理に向け、クリーンヒルこもろの運営の見直しを行った。</li> </ul>							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運営モニタリング会議により、業務実施計画及び業務計画書に基づく業務の履行について確認し、精査する。</li> <li>クリーンヒルこもろの環境学習スペースについて、掲示物を適時更新して充実させ、環境学習の拠点として活用する。</li> <li>施設搬入時展開検査を実施し、排出事業者及び収集運搬許可事業者に指導を行う。</li> </ul>						今後の方針	維持

事務事業名			新規・継続		
清掃総務費給与費			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・4衛生費・2清掃費・1清掃総務費			生活環境課		
投入 指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		年度別事業費	65,956 千円	37,402 千円	42,247 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	65,956 千円	37,402 千円	42,247 千円	

政策 2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
施策 2-2	環境の保全と省エネ政策を推進し、自然環境にやさしいまちづくりを目指します

所 管	生活環境課
関 連	都市計画課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

地球温暖化の影響とみられる気候変動による異常気象が、世界各地で報告され、国内においても、近年類をみない気象異常が頻発し、小諸市にとっても極めて深刻な脅威となっている。未来を担う世代に、持続可能な社会を引き継ぐためには、市民、事業者、行政それぞれが危機感を共有し、地球温暖化の原因であるCO2の削減に向けた取り組みを行うことが求められている。

そのためには、市民・事業者への情報提供と啓発により、環境に対する意識を高めていく必要がある。また、再生可能エネルギーの推進は、住民の合意形成を図り、今ある自然環境や景観との調和を図る必要がある。

◆方針

目的

今ある自然景観を守り育て、地球温暖化防止に努めるなど事前環境にやさしいまちづくりを推進する。そのために、市民・事業者・行政が環境に対する意識を高め、それぞれの役割と責任を認識し、省エネルギーの徹底や環境や景観、地域との調和を図りながら、再生可能エネルギーの活用を促進し、CO2 の削減に取り組む。

◆令和2年度重点方針と目標

- ①太陽光発電設備設置事業者に対しガイドラインに沿った事業の適正実施を指導し、地域との合意形成が成され自然環境と調和した再生可能エネルギーの推進を図る。
- ②環境に対する市民の意識を高めるため、クリーンヒルこもろでの環境学習や、環境フェアなど関係機関等と連携し環境学習の機会を確保する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画

- ①地球温暖化など、市民の環境に対する意識が高まっている状態。
- ②小諸の美しい景観や豊かな自然環境が保全されている状態。

◆実績

令和2年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電事業の適正な実施に関するガイドライン・指導要綱により地域との合意形成がなされ自然と調和した事業が行われるよう、事業者に対し指導をおこなった。</li> <li>・地球温暖化対策として、気候非常事態宣言を行い市民、事業者等に対しCO2削減に向けた啓発をおこなった。</li> <li>・地域環境の保全と動物愛護の為、飼い主のいない猫170匹に対しての不妊、去勢手術費の補助を行った。</li> </ul>	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	長野県SDGs推進企業登録制度に登録している企業の数						
設定理由	各企業が、自らの事業活動が地域に及ぼす影響と社会的責任の重要性を認識し、環境に配慮した事業活動を展開することが重要であるから。						
算式						単位	団体
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	3	計画	15	25	35	45	
		実績	15				
指標名	市民が学ぶ環境学習の人数						
設定理由	環境に対する市民の意識を高めていくには、環境学習を進めることが重要であるから						
算式						単位	人
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	481	計画	500	1,100	1,200	1,300	
		実績	200				
指標名	環境保全やごみ対策など環境衛生の取り組みに対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	市民の満足度が高ければ、環境施策が住民のニーズに沿っている割合が高いから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	76.8	計画	77.6	78.4	79.2	80	
		実績	76.7				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

- ①CO2削減に向け、クリーンヒルこもろでの環境学習や環境フェアなど関係機関と連携し、市民への情報提供と啓発を図るとともに、地球温暖化対策について検討を行う。
- ②地球温暖化防止のための再生可能エネルギーの利用を促進するにあたり、太陽光発電事業については、ガイドライン及び指導要綱により、地域との合意形成が成され、自然環境との調和を図りながら事業が進められるよう調整を図る。

◆個別計画

環境基本計画／共に取り組むCO2削減計画こもろ(地球温暖化対策地域推進計画)

◆特記事項

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-2 環境の保全と省エネ政策を推進し、自然環境にやさしいまちづくりを目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
環境対策費運営費		継続		1			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・4環境対策費		生活環境課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車騒音、河川や地下水の水質、大気汚染等の調査の実施</li> <li>再生可能エネルギー及び省エネルギーの推進</li> <li>公害防止監視活動の実施</li> </ul>						
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	年度別事業費		5,162 千円	3,066 千円	2,746 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	1,695 千円	1,741 千円		
一般財源		5,162 千円	1,371 千円	1,005 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	水質や大気等の検査総検体数(年間)	箇所	計画	169	169	169	
			実績	169	169	169	
	省エネルギー教室・環境学習の参加人数	人	計画	160	170	180	
実績			629	60	0		
令和2年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境、生活環境の実態を把握するため、河川水質等定期検査をはじめ地下水検査、大気汚染調査等を実施した。</li> <li>太陽光発電事業の適正な実施に関するガイドライン、指導要綱により指導を実施した。</li> <li>オオキンケイギク等の特定外来植物の駆除について啓発を実施した。</li> <li>小諸市気候非常事態宣言を表明した。</li> </ul>				■4-1-4-97公害防止監視事業をH27年度に統合■			
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>自然環境や生活環境の実態把握のため、引き続き河川や地下水の水質および大気の状態調査を実施する。地球温暖化防止のため再生可能エネルギーの利用を促進するにあたり、特に太陽光発電事業については、ガイドラインおよび指導要綱により、自然環境との調和を図りながら事業がすすめられるよう調整を図る。環境保全の取り組みとして、特定外来生物(植物)の駆除にかかる啓発などを引き続き行う。また、生物多様性保全に取り組む住民等と連携を図りながら、市民への周知啓発を行う。小諸市気候非常事態宣言を表明したことから、ゼロカーボンに向けた取り組みを検討する。</p>						今後の方針	維持

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-2 環境の保全と省エネ政策を推進し、自然環境にやさしいまちづくりを目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
環境衛生費運営費		継続		3			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・5環境衛生費		生活環境課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐久広域連合への負担金の交付</li> <li>浅麓水道企業団への負担金の交付</li> </ul>						
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	年度別事業費		23,830 千円	31,797 千円	27,312 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	1,229 千円		
一般財源		23,830 千円	31,797 千円	26,083 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	関係機関が主催する会議の出席回数	回	計画	2	2	2	
			実績	2	2	0	
	飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金交付件数	件	計画	—	20	50	
実績			—	14	170		
令和2年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関に対して必要な経費を負担した。</li> <li>飼い主のいない猫の適切な飼育管理のため、猫不妊去勢手術費補助制度により補助金を交付した。</li> </ul>							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>市民の衛生的で快適な生活環境を維持するため、引き続き関係機関に対して必要な経費を負担する。また、飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金を用いて、猫の不適切管理に基づく生活環境の悪化を防ぐとともに、愛玩動物の適切な飼育管理および動物愛護の意識高揚を図る。</p>						今後の方針	維持

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-2 環境の保全と省エネ政策を推進し、自然環境にやさしいまちづくりを目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
狂犬病予防事業		継続		4			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・5環境衛生費		生活環境課		1:無			
事業概要	・犬の登録及び狂犬病予防注射の実施						
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	年度別事業費		366 千円	402 千円	843 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	366 千円	402 千円	843 千円		
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	狂犬病予防注射の実施率		%	計画	94	94	94
				実績	85	85	85
				計画			
実績							
令和2年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬の登録と狂犬病予防注射接種を徹底するため広報で啓発した。</li> <li>・狂犬病予防注射の実施率向上のため、事前通知後に、未接種犬に対し勧奨を通知した。</li> </ul>							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
関係機関である県保健福祉事務所や獣医師会と協力し、飼い犬の登録の徹底および狂犬病予防注射の接種について周知啓発を図る。					今後の方針	維持	

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-2 環境の保全と省エネ政策を推進し、自然環境にやさしいまちづくりを目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
高峯聖地公園費運営費		継続		2			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・6高峯聖地公園費		生活環境課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高峯聖地公園の管理運営</li> <li>・一般聖地及び合葬式聖地の貸付</li> <li>・清掃手数料の徴収</li> </ul>						
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	年度別事業費		20,124 千円	9,539 千円	19,019 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	20,124 千円	9,539 千円	9,604 千円		
一般財源		0 千円	0 千円	9,415 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	維持管理業務に係る月平均作業回数		回	計画	6	6	6
				実績	6	6	6
	清掃手数料未納者の人数		人	計画	8	8	8
実績				27	10	10	
令和2年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・春秋の彼岸やお盆の時期を中心に、聖地公園内の適正な維持管理業務を実施した。</li> <li>・清掃手数料未納者に対し滞納整理を実施した。</li> <li>・合葬式聖地をふるさと納税の返礼品として登録したことにより使用申込み者が増加したため、合葬式墓地・法名掛を増設した。</li> </ul>							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> <li>霊園にふさわしい環境を維持するため、引き続き適正な管理を行う。</li> <li>清掃手数料未納の解消に向けて、未納者に対して個別に対応を行う。</li> <li>霊園システムのクラウド化を検討する。</li> </ul>					今後の方針	維持	

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-2 環境の保全と省エネ政策を推進し、自然環境にやさしいまちづくりを目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
不法投棄対策事業		継続		6		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課		1:無		
事業概要	・不法投棄の防止対策					
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	年度別事業費		3,300 千円	2,874 千円	69 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		3,300 千円	2,874 千円	69 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	不法投棄ごみの回収量	kg	計画	13,500	15,000	14,500
			実績	15,288	13,258	9,953
			計画			
実績						
令和2年度 実績				特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄監視パトロール及び不法投棄ごみの回収を行った。</li> <li>不法投棄多発箇所には、不法投棄防止看板や監視カメラを設置し、不法投棄の防止を図った。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関や衛生自治会、区と連携し、不法投棄多発箇所を重点的にパトロールし、不法投棄防止啓発看板や監視カメラを設置する。</li> <li>ポイ捨てや不法投棄をされない環境づくりに向け、衛生自治会を通じて、住民に土地の適正管理について啓発を行う。</li> <li>不法投棄の防止対策に向け、有効な防止対策について引き続き検討を行う。</li> </ul>					今後の方針	維持

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-2 環境の保全と省エネ政策を推進し、自然環境にやさしいまちづくりを目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
環境美化・緑化対策事業		継続		5		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・1都市計画総務費		都市計画課		1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>花いっぱい運動の実施</li> <li>保存木等の維持管理に関する周知</li> </ul>					
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	年度別事業費		1,942 千円	1,932 千円	1,942 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		1,942 千円	1,932 千円	1,942 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	花いっぱい運動の参加団体数	団体	計画	76	76	76
			実績	79	81	83
	花いっぱい運動の花苗の配布数	本	計画	55,000	55,000	55,000
実績			46,110	37,140	36,162	
令和2年度 実績				特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>花いっぱい運動 参加団体数および苗配布数の維持のため、広報や各団体へ通知し参加を呼びかけた。 (参加団体数 R2実績 83団体(R1実績 81団体))</li> <li>保存木維持管理事業 パンフレットの送付を2年に1回が適当とし、令和2年度は未実施。(前回は令和2年3月にパンフレットを送付)</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> <li>花いっぱい運動については、アンケート結果を検証し、引き続き市民の方の緑に対する意識の醸成・高揚を図るため、参加団体数や苗配布数の維持を継続していく。</li> <li>市民活動団体の育成につながる事業を一体的に実施し、景観まちづくりに寄与する関連事業等との連携を促進する。</li> <li>保存木維持管理事業については、保存木登録者に対し、更なる理解を求めるため、保存木指定の目的等を広報やパンフレットの配布などにより、定期的に周知を図る。</li> </ul>					今後の方針	維持

事務事業名			新規・継続		
環境衛生費給与費			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・5環境衛生費			生活環境課		
投入 指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		年度別事業費	28,540 千円	31,768 千円	29,735 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	7,008 千円
	一般財源	28,540 千円	31,768 千円	22,727 千円	

政策 2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
施策 2-3	市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します

所 管	下水道課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

小諸市内の生活排水処理事業は、7つの処理場はじめ、多くの管路施設と個別浄化槽により運営している。整備状況の指標の「汚水処理人口普及率」は98.7%、利用状況を表す「快適生活率」は91.8%と、整備拡大の時代から利用拡大と施設管理の時代に移り変わってきている。今後は、利用密度の低い未整備区域における整備方針の検討と、普及促進の実施により利用人口の拡大を図るとともに、施設管理の効率化を目指した処理区統合計画の推進と、下水道施設を持続可能な設備としていくための点検・調査と更新をサイクルとした計画の運用を軌道に乗せる必要がある。

◆方針

目的
<p>地理的条件と利用者意向との調整から、未普及地域内の整備方針を見直すとともに、効果的な普及促進活動を模索しながら利用拡大に努め、施設整備の概成と使用料収入の維持・拡大を図る。県単位で取り組む「水循環・資源循環のみち2015」構想の定期的見直し結果に基づく処理区統合計画を推進し、施設管理計画である「ストックマネジメント計画」の実行と併せて、事業の経営基盤の強化を図る。</p>

◆令和2年度重点方針と目標

○和田中央幹線の破損区間の更新改修工事を実施する。  
 ○目の当たりにした台風19号による被害状況を教訓に、不安を少しでも軽減できる対策案(施設バックアップ計画)を作成する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①市内のすべての地域において、生活排水処理サービスを受けられる状態。          ②生活排水処理サービス未利用者が、サービスの内容を知り、利用に向けた具体的検討ができる状態。          ③「水循環・資源循環のみち2015」構想が地域状況を反映して見直しされ、構想に沿った統合計画が実行されている状態。          ④すべての汚水管路において、停滞なく汚水が流れている状態。</p>

◆実績

令和2年度実績	
<p>○「汚水処理人口普及率」は0.1%上昇して98.8%に、「快適生活率」は0.8%上昇して92.6%になった。</p> <p>○未普及地区の施設整備方針を計画するため、現地調査と関係者協議に着手した。</p> <p>○農業集落排水事業森山地区を和田地区へ統合するための第二期目工事を実施した。</p> <p>○下水道施設全体の計画的な点検・調査と改築・修繕の実施を目的とした「小諸市公共下水道ストックマネジメント計画」を策定した。</p>	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	快適生活率(長野県下共通の指標の一つ)						
設定理由	生活排水処理サービスの利用を促進し、暮らしの快適さ満足度の向上と汚水放流の減少を目指すため。						
算式	計画に沿った処理方式の汚水処理施設を利用する人数÷行政人口＝					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	91.8	計画	92.5	93.0	93.5	94.0	
		実績	92.6				
指標名	松井川雨水排水路(総合体育館付近)の水質調査による生物化学的酸素要求量(BOD)測定値						
設定理由	生活排水処理サービスの利用状況を二次的に確認するため。 (生活環境課が行う年4回測定結果の平均値)						
算式						単位	mg/L
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	1.2	計画	2以下	2以下	2以下	2以下	
		実績	0.75				
指標名	下水道・浄化槽などによる水洗化の促進に対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	市民の満足度が高ければ、生活排水処理に関する施策が市民ニーズに沿っている割合が高いから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	78.1	計画	78.4	78.7	79.0	79.4	
		実績	76.3				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

<p>○地理的条件の調査と関係者意見の把握から現地に適した汚水処理方針を立案し、令和4年度以降の交付金事業計画に反映させる。</p> <p>○面談を基本とした普及促進活動を定期的に行い、状況を把握することから対策案を作成する。</p> <p>○令和3年度に予定する「水循環・資源循環のみち2022」の作成過程を利用して、施設統合計画の見直しを図る。</p> <p>○一期目の取り組みが始まった「小諸市公共下水道ストックマネジメント計画」を実行に移す。</p>	
---	--

◆個別計画

流域別下水道整備総合計画／「水循環・資源循環のみち2015」構想／公共下水道事業計画／社会資本総合整備計画／下水道事業経営戦略／公共下水道事業ストックマネジメント計画
---

◆特記事項

--

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
農業集落排水 収益的事業		継続	5			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
集排		下水道課	1:無			
事業概要	農業集落排水事業における事業収益に関すること。 使用料の徴収賦課 施設の維持管理 普及促進(接続率向上) 企業債の利子償還 給与費					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	332,567 千円	331,683 千円	298,419 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	374,389 千円	380,277 千円	358,000 千円	
			-41,822 千円	-48,594 千円	-59,581 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	水洗化率		計画	84	85	86
			実績	86.6	87.8	88.5
	農集使用料収納率(現年度)		計画	99	99	99
実績			99.5	99.5	99.5	
令和2年度 実績			特記事項			
水洗化率88.5% 農集使用料収納率99.5% 八満地区の公共下水道事業への移行のため、理事会を開催しスケジュールの説明を行った。また、従量制への移行について理事会で再確認した。			平成30年度から公営企業会計に移行したため「一般管理費運営費」を「農業集落排水 収益的 事業」に変更			
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区の排水処理組合と協力して、未接続組合員に対する普及活動を実施する。</li> <li>使用料等未納者に対する催告を定期的に行い、現年収納率の向上を図る。</li> <li>八満地区使用料の従量制移行について、令和5年度の切替を目指し総代会を開催し、意向をまとめる。</li> </ul>						

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
農業集落排水 資本的事業		継続	3			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
集排		下水道課	1:無			
事業概要	農業集落排水事業における投資に関すること 農業集落排水事業分担金の賦課徴収 企業債の元金償還					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	104,531 千円	106,939 千円	109,412 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	46,640 千円	44,973 千円	52,904 千円	
			57,891 千円	61,966 千円	56,508 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	施設管理数		計画	5	5	5
			実績	5	5	5
			計画			
		実績				
令和2年度 実績			特記事項			
新規加入者分担金口数17.2口			平成30年度から公営企業会計に移行したため「施設管理費運営費」を「農業集落排水 資本的 事業」に変更			
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>森山地区の公共下水道への統合に向け、処理施設の後利用や接続工事等が円滑に進むよう関係機関と連携して取り組む。</li> <li>資金計画に基づき適正に企業債元金の償還を行う。</li> </ul>						

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
浄化槽設置・維持管理促進事業		継続	4				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・3都市計画費・2下水道環境費		下水道課	1:無				
事業概要	浄化槽区域(公共下水道の認可区域及び農業集落排水の整備区域以外)における合併処理浄化槽整備を推進する。						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	55,112 千円	46,026 千円	46,727 千円		
		地方債	12,790 千円	6,082 千円	5,694 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	136 千円	0 千円	5 千円		
一般財源		42,186 千円	39,944 千円	41,028 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	浄化槽設置基数		基	計画	50	49	48
				実績	40	30	24
	浄化槽保守点検実施率		%	計画	90	90	100
実績				94.8	99.5	99.1	
令和2年度 実績				特記事項			
浄化槽設置 24基 浄化槽保守点検実施率 99.1% 浄化槽法定検査不適正率 5.3% 循環型社会形成推進地域計画(R3~R7)を策定した。							
目標の実現に向けた今後の取り組み ・助成制度の効果的な周知により合併処理浄化槽の適正な維持管理につなげる。 ・法定検査不適正判定及び保守点検未実施の浄化槽管理者に対して、指導権限を有する県と連携して早期改善を促す。 ・公共下水道事業及び農業集落排水事業の普及促進と連携した取り組みを実施する。 ・申請状況から助成の費用対効果を把握して、今後の有効な補助のあり方(補助区分・額)について検討する。 ・県が推進する「浄化槽維持管理に係る一括契約」(浄化槽使用者の利便性向上を図るため、保守点検、清掃及び法定検査料金を一括で支払・受領する体制の構築)の有効性について、県と協議した上で判断していく。						今後の方針	維持

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
公共下水道 収益的事業		継続	2				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
下水道		下水道課	1:無				
事業概要	公共下水道事業における事業収益に関すること 公共下水道使用料の賦課、徴収 下水道施設の維持管理 下水道の普及促進 企業債の利息償還						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	1,128,180 千円	1,125,653 千円	1,137,252 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	1,217,109 千円	1,197,674 千円	1,197,781 千円		
一般財源		-88,929 千円	-72,021 千円	-60,529 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	下水道使用料収納率(現年度)		%	計画	99	99	99.5
				実績	99.4	99.5	99.5
	公共下水道等接続率		%	計画	62	63	63
実績				62.2	63	63.7	
令和2年度 実績				特記事項			
使用料現年度収納率 99.5% 下水道等接続率 63.7% テレビカメラ調査路線数 2路線							
目標の実現に向けた今後の取り組み ・閉塞、道路陥没等の重大事故を回避すべく、ストックマネジメント計画による管路腐食対策を行う。 ・受益者負担金及び分担金未納者に対して、随時に催告書を送付(訪問)し、現年収納率の向上を図る。また、約束不履行を繰り返す悪質な未納者に対しては、法律事務所へ委託して回収していく。						今後の方針	維持

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を推進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
公共下水道 資本的事業		継続	1				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
下水道		下水道課	1:無				
事業概要	公共下水道事業における投資に関すること 下水道施設の建設費 下水道受益者負担金 企業債の元金償還						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	1,006,135 千円	996,925 千円	910,372 千円		
		地方債	85,000 千円	108,100 千円	164,700 千円		
		その他	365,500 千円	393,300 千円	246,300 千円		
		一般財源	154,426 千円	143,597 千円	148,094 千円		
			401,209 千円	351,928 千円	351,278 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	受益者負担金収納率(現年度)		%	計画	98	98	99
				実績	98.9	97	98.7
	汚水管渠更新路線数		路線	計画	2	2	1
実績				1	1	1	
令和2年度 実績			特記事項				
・農集森山地区の和田特環への接続に伴う、圧送管渠の工事の実施。 L=1,343m ・管路の更新工事の実施。 L=259m ・古城地区において松井川改良工事を実施。 L=149m							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
・農集森山地区の和田特環への統合に伴い、中継ポンプ場及び圧送管渠工事を実施。 ・stromane計画に基づき、設計委託及び工事を進める。 ・未整備地区の利用者の意向確認を行い、整備方針の検討を行う。 ・水資源、資源環境のみち2022構想の計画策定。							

事務事業名			新規・継続		
下水道事業会計繰出金			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・8土木費・3都市計画費・2下水道環境費			下水道課		
投入 指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		年度別事業費	675,687 千円	652,924 千円	630,762 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	675,687 千円	652,924 千円	630,762 千円	

